

令和元年度第1回中部森林管理局保護林管理委員会 議事概要の公表について

保護林管理委員会は、森林・林業や自然環境に関する専門家、関係地方公共団体等で構成され、中部森林管理局管内における保護林の設定、変更、廃止、管理及びモニタリング等に関する事項並びに保護林に関連する生物多様性の保全について検討を行っています。

「令和元年度第1回中部森林管理局保護林管理委員会」を以下のとおり、開催しましたので、その議事概要等を公表します。

1 開催日時 令和元年8月7日（水）13時30分～15時20分

2 開催場所 長野県長野市大字栗田715-5
中部森林管理局大会議室

3 議事概要 別紙のとおり

4 検討内容

- (1) 令和元年度保護林モニタリング調査について(報告)
- (2) 令和元年度緑の回廊モニタリング調査について(報告)
- (3) 中部森林管理局管内の保護林モニタリング計画について
- (4) その他

—お問合せ先—

林野庁 中部森林管理局 計画保全部計画課
担当者： 富岡、熊崎
電話： 050-3160-6537



令和元年度 第1回中部森林管理局保護林管理委員会 議事概要

開催日時 及び場所	令和元年8月7日(木) 13:30~15:20 中部森林管理局 会議室
出席委員	植木 達人 (信州大学農学部 教授) 委員長 小宮山 義光 (日本野鳥の会長野支部 幹事) 西條 好迪 (自然学総合研究所 理事長) 竹中 千里 (名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授) 柳 真子 (専門学校職藝学院 准教授) 由井 正隆 (長野県木材協同組合連合会 理事)
議 題	1 令和元年度 保護林モニタリング調査について(報告) 2 令和元年度 緑の回廊モニタリング調査について(報告) 3 中部森林管理局管内の保護林モニタリング計画について 4 その他
概 要	<p>○ 委員からの主な意見</p> <p>1. <u>令和元年度 保護林モニタリング調査について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物調査は専門的な知見が必要であり、生態系保全の上でも重要なのでしっかり取り組んでほしい。 <p>2. <u>令和元年度 緑の回廊モニタリング調査について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリング調査の目的として、緑の回廊の有効性の検証を行うとあることから、そのことが評価できる調査として頂きたい。 <p>3. <u>森林管理局管内の保護林モニタリング計画について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 局案により計画的に進めて頂きたい。 <p>4. <u>その他</u></p> <p>[北アルプス生物群集保護林内の支障木の伐採について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に保護林は伐採しないのが前提なので、支障木の伐採は最小限に留めて頂きたい。 ・ 高圧電線の線下にある樹木の伐採は、公益上やむを得ないと考える。 <p>[保護林内での「松くい虫防除事業」について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樹幹注入による樹木の保護は有効であるので、優先度の高い所から進めてほしい。 ・ 松くい虫による被害を防ぐ対策は、大変重要で緊急な問題なので、審議を待たず現場を先行させることも重要と考える。 <p style="text-align: right;">以上</p>